

令和5年度 第2回
日野市教育委員会臨時会議事録要旨

令和6年（2024年）1月25日

日野市教育委員会

令和5年度第2回日野市教育委員会臨時会

開催日時 令和6年(2024年)1月25日(木)
18時30分～18時51分

開催場所 506会議室

出席委員 教 育 長 堀川 拓郎 教育長職務代理者 高木 健夫
委 員 真野 広 委 員 正留 久巳
委 員 岩下 優美子

議事録署名委員 委 員 真野 広

事務局出席者 教育部長 村田 幹生 教育部参事 田中 洋平
(兼生涯学習課長)
庶務課長 釜堀 亜矢子 中央公民館長 綿貫 真二
図書館長 奥住 大輔

傍聴者 なし

書記 庶務課課長補佐 脇坂 立志
庶務課主事 金澤 仁

議事内容 別紙のとおり

この議事録は事実と相違ないことを認め、ここに署名します。

議事録署名
教 育 長 堀川 拓郎

議事録署名
委 員 真野 広

議事内容

協議事項

第6号

日野市社会教育施設（一部）個別施設計画 素案

(議事の要旨)

開始 18時30分

[堀川教育長]

ただいまから、令和5年度第2回教育委員会臨時会を開会いたします。

[堀川教育長]

本日の議事録署名は、真野委員にお願いをいたします。

本日の案件は、協議事項1件です。

それでは、議事に入ります。

協議事項第6号、日野市社会教育施設（一部）個別施設計画素案について、事務局より説明をお願いします。

図書館長。

○協議事項第6号 日野市社会教育施設（一部）個別施設計画 素案

[奥住図書館長]

図書館長でございます。それでは、協議事項第6号、日野市社会教育施設（一部）個別施設計画素案について御説明をさせていただきます。恐れ入ります、素案のほうを御覧ください。

1ページ目として、計画の背景・目的等を記載させていただいております。本計画は、日野市公共施設等総合管理計画に基づきまして、図書館・公民館の求められている姿を踏まえ、今後の在り方を示すことを目的としております。位置づけにつきましても、1ページのところに記載のほうをさせていただいております。

続きまして、素案2ページ、対象施設になります。対象施設につきましては、図書館7施設、公民館2施設となっております。

2番目として、対象施設に求められている姿になります。素案の10ページから11ページになります。図書館では市内全域にサービス展開をしていく、「いつでも、どこでも、誰にでも、なんでも」貸出し、市内全域においてすべての市民に開かれた、まちの情報拠点としての運営が求められています。公民館につきましては、市内全域での学びの展開、現代の人々が生活を送る上で、一人一人の「存在としての豊かさ」が問われており、市民の存在としての豊かさにつながる学びの場合であることを求められています。

素案13ページから39ページにかけましては、社会教育施設を取り巻く現状ということで施設における現状、人口構成バランスの悪化、建物の老朽化の進行、施設維持管理、更新にかかる費用の増加、住民ニーズへの対応など現状を記載させていただいております。また、その課題としては、施設の再編における課題、そして老朽施設が多くある中でのこの後の修繕計画に対して記載をさせていただきます。

続きまして、社会教育施設整備の基本方針として、39ページから40、41ページに記載をしております。社会教育施設の適正配置、長寿命化の効果的な実施、予防保全による建物維持管理について記載をさせていただきます。

また42ページでは、対策の優先順位の考え方ということで、市民・利用者の安全性確

保を最優先事項とするとともに効果的な施設整備への投資の観点から、今後も長期的な利用を目指す施設建物への対策を優先して実施してまいります。

続いて、施設の評価についてです。43ページからになりますが、各施設の機能面及び建物の面から、下記のフロー図で施設評価を行い、個別施設ごとの対策内容を整理しております。

その1として、施設の評価。第1判定では、利用コストのデータから施設機能面についての評価。第2判定として、耐震状況・劣化状況に基づく長寿命化における判定。その2の対策内容としては、総合判定として施設評価の結果に加え、その他の指標を考慮して対策内容を判定しております。

45ページからは、対象施設の目指すべき姿として、公民館、図書館それぞれの学びの循環を実現することで持続可能な地域づくりに寄与できるよう整理をさせていただいております。

続いて、46ページから52ページにかけては、対象施設の判定結果と今後の方向性について示させていただいております。中央図書館、高幡図書館、日野図書館、多摩平図書館、平山図書館、市政図書室、百草図書館、中央公民館、中央公民館の高幡台分室、それぞれの施設において第1判定、第2判定、総合判定、今後の方向性について再配置の可能性も含めた中で示させていただいております。

続いて、施設整備の実施計画として、55ページから58ページ、59ページのほうには対策後のコストの見直しとして個別施設計画の方向性、法定点検結果を反映した場合の今後の推計結果を示させていただいております。なお、直近5年間の実績の年平均の中での数字をコストとして示させていただいております。

60ページでは、今後の課題として、今後の社会教育施設を取り巻く状況の変化を踏まえた中で、今後どうあるべきかということを示させていただいております。

続いて、対策内容のロードマップとして、61ページには本計画の基本方針及び施設評価結果から整理した施設ごとの対策内容及びその実施時期について示させていただいております。それぞれの施設における今後かかってくるコスト等を示させていただいているところです。

続いて、62ページからは個別施設計画の継続的運用方針として、情報基盤の整備の活用、また推進体制の構築として、それぞれ施設維持管理の情報基盤として、施設カルテ等の有効活用に加えて法定点検結果のデータの集約等を行い、今後の資産管理の効率向上を目指してまいります。

63ページからは、計画のフォローアップとして、実際に縮充の考え方や民間活力を有効に取り入れたマネジメントを行い、10年ごとの計画の見直しに当たっては個別の推定事業費の精査であったり、財源確保、ランニングコスト等の縮減を図ってまいります。効率的かつ効果的な施設整備を進めることを目的として、今後も整理をしていきたいというふうに考えております。

雑駁ではありますが、説明は以上となります。よろしく願いいたします。

[堀川教育長]

事務局からの説明が終了しました。御質問、御意見がございましたらお願いいたします。

高木委員。

[高木委員]

質問をお願いしたいというふうに思います。基本的なことでありますけれども、令和5年3月に発行されました「新たな学校づくり・社会教育施設づくり推進計画策定基礎調査業務報告書」がありますが、その報告書と本素案とはどのような関係にあるのでしょうか。

また、何がゆえに今回、素案にて図書館と公民館の施設計画が示されているのか教えていただきたいと思います。

よろしく願いいたします。

[堀川教育長]

図書館長。

[奥住図書館長]

御質問についてお答えさせていただきます。本個別施設計画につきましては、日野市公共施設等総合管理計画の中で、図書館、公民館の今後の施設の在り方を示さなければならぬということになっております。新たな学校づくり・社会教育づくり推進計画の調査結果をしっかりと見定めた中で整合性を図りながら、今後も複合化、あるいはその建て替えの準備に向けて、反映をさせていただきながら進めていければというふうに考えております。

以上でございます。

[堀川教育長]

ほかに御質問、御意見はございませんか。

真野委員。

[真野委員]

説明ありがとうございます。本計画の中で61ページになりますけれども、第4節に対策内容のロードマップということで書かれているわけなんですけど、このロードマップが全体の基本方針というふうになるかと思っておりますけれども、これを受けて各施設ごとに進めていくことになるかと思っておりますが、現状で結構ですが、この後の進め方について教えていただければなと思っております。

[堀川教育長]

中央公民館長。

[綿貫中央公民館長]

61ページの本計画の基本方針及び施設評価結果と財政負担、それから市民サービス提供への影響も踏まえた上で、本計画期間中の施設ごとの対策内容及びその実施時期を整理しております。このロードマップを進めていくためには、事業の進捗状況や関連する様々な計画の改定に合わせて見直しを行い、必要となる更新費用の財源の確保、それから施設維持管理、運営にかかるランニングコストの縮減を図り、また、今後想定される人口動態の変化に伴う利用者ニーズの移り変わりなどにも迅速に対応できるよう、縮充の考え方を取り入れたマネジメントを実施して進めてまいります。

以上です。

[堀川教育長]

ほかにございせんか。

高木委員。

[高木委員]

今回、素案ということですが、この計画なんですが、決定に向けて今後どのような日程、スケジュールで進めていこうとしているのか、現時点の考え方を教えていただきたいと思います。

よろしく申し上げます。

[堀川教育長]

図書館長。

[奥住図書館長]

図書館長でございます。今後の進め方でございます。この後、2月からパブリックコメントを予定しております。利用者、未利用者を含めた市民の方から多くの意見をしっかりと聞き取った上で、丁寧な対応をしていきたいと思っております。その後、全体の利用者からの声、未利用者からの声等を整理した上で、この計画に反映をさせていただきながら3月末を目指して確定をしていきたいというふうに考えております。

以上でございます。

[高木委員]

ありがとうございました。

[堀川教育長]

ほかにございせんか。御質問、御意見ございせんでしょうか。

高木委員。

[高木委員]

提示いただきました日野市社会教育施設（一部）個別施設計画素案について、賛成する立場で意見を述べさせていただきます。

本素案の構成が4ページの第6節、計画の構成に示されていますが、目標設定、実態把握、市民からの意見も踏まえての方針設定、それから計画策定・運用というステップを踏み、非常に丁寧に課題整理や検討がされており、計画策定のプロセスとして合理的で妥当なものかと判断しています。したがって、本素案に示されました計画については理解をいたしましたので、本計画に基づき進めていただくことをお願いいたします。

要望として、第7章の対策内容のロードマップには、三、四年後に実施予定の案件も含まれますが、全体としては非常に長期にわたる計画運用となります。10年ごとに見直しを行うことや、フォローアップの考え方が示されていますが、社会情勢や財政状況等々も勘案し、柔軟な発想で見直し検討されることをお願いいたします。

以上、意見とさせていただきます。よろしく申し上げます。

[堀川教育長]

ほかにございせんか。

真野委員。

[真野委員]

私からも意見ですが、今回のこの素案を読ませていただきまして、賛成の立場から意見

を述べさせていただきたいと思います。

この計画は、図書館及び公民館の9つの施設を対象に令和6年度から令和34年度までの29年間を計画期間として策定をしています。計画立案に当たっては、日野市の上位計画等との整合を図るとともに、日野市の様々な現状や各施設のハード面での現状分析、またソフト面での運営状況や利用状況を踏まえた分析、さらには市民の皆さんへのアンケート結果などを踏まえて様々な観点で評価軸を定め、分析、評価し、本計画の基本方針を定めている、そういう点で私は評価できる内容であるというふうに考えます。この計画策定に当たって、様々なデータを収集、分析し、取りまとめたこの内容は大変貴重な資料、データではないかなというふうに思います。御苦勞も多かったのではないかなと思います。この策定に関わった皆様に感謝を申し上げたいと思います。

今後、この方針を踏まえて予算規模を考慮したり、施設ごとに具現化をしていくということになるかと思いますが、市長部局など他部門との連携とか、またパブリックコメントもありますので、市民の皆さんの御意見や御理解を得ながら、日野市に住んでいてよかったなと思ってもらえるような、新しい魅力ある公共施設、図書館、公民館の姿を目指して、本素案にも載っていますけれども民間活力導入も積極的にぜひ検討いただきたいなというふうに思います。

私からは以上です。

[堀川教育長]

ほかにございませんか。

正留委員。

[正留委員]

本日野市社会教育施設(一部)個別施設計画素案に賛成の立場から意見を申し上げます。

素案は様々な角度からの分析を基に、個別施設計画の方向性が的確に示されていると思います。地域や現状を捉え、今後の市の教育充実に寄与するものとなっていると思います。

今後は、状況の変化に応じて素案に示してあるように柔軟な視点や対応を大切にして進めていただければと思います。

以上です。

[堀川教育長]

ほかにございませんか。

岩下委員。

[岩下委員]

日野市社会教育施設個別施設計画の素案について、賛成の立場で意見を申し上げます。

日野市における社会教育施設全体を網羅し、その更新や修繕の計画について細かに検討されており、市民アンケートの回答に寄せられた意見も踏まえ、現時点で今後を見通す上で基礎となる計画であると思います。複合化を視野に大変長期にわたる計画の素案であるため、設定されている10年ごとの見直しの際は、その時点でのニーズを再確認し、新たな技術の採用や民間委託を含め、合理的判断をして推進していただきたいと思います。どうぞよろしく願いいたします。

以上です。

[堀川教育長]

ほかにございせんか。

それでは、今後2月にパブリックコメント、そして年度内の策定を目指すということで、事務局におかれましてはしっかりと手続を進めていただくようお願いをいたします。

それでは、協議事項第6号を終了いたします。

[堀川教育長]

以上をもちまして、本日の案件は全て終了をいたしました。

これにて、令和5年度第2回教育委員会臨時会を閉会いたします。

ありがとうございました。

閉会 18時51分